

事業の進め方

この構想は、民間事業者の活力を生かしつつ、官民の適切な役割分担のもと、スピード感を持って事業を進めていきます。

■官民の適切な役割分担

民間を事業主体にした展開

- 経験や知見、発想、活力などを積極的に活用
- 整備・維持管理運営の効率化によるコスト縮減

■的確なニーズ把握とスピード感のある整備

社会実験の実施

- データの収集と計画への反映
- 本格実施に向けた機運醸成

■推進していく過程における留意点

大規模イベントや博覧会との連携による効果的な情報発信

- 大規模イベントや博覧会の誘致を進めつつ、これらの開催と連携した全国への効果的な情報発信

行政による徹底したサポート

- 民間活動を促進するための規制緩和やコーディネート
- 迅速な意思決定を可能にする権限の集約化

スピード感のある段階的な整備

- 長期的な視点に立ちつつ実現可能なところから整備に着手
- 時代の変化に対し柔軟かつスピーディな対応

常に変化し続けるシステムを構築

- 店舗や展示内容等について固定化するのではなく、柔軟に変化させるシステムの構築を検討

“尾張名古屋文化の旅の基点”など主要事業の展開にあたっては、官民の負担内容を明確にした上で、PFI方式等の導入を検討するなど、民間事業者の活力を最大限に生かすとともに事業費の縮減にも努めます。今後事業構造なども含めて詳細な検討を進めてまいります。なお、事業の経済効果についても十分に検討してまいります。

当面のスケジュール

構想の実現に向けては、以下に示すステップを踏みながら詳細な検討を進めていきます。

当面は、城内や駐車場等を活用して社会実験を実施し、世界の金シャチ横丁（仮称）の実現に向けたニーズ把握と機運醸成を図ります。

